

小学校・中学校・義務教育学校の取組

学びの充実に向けて取り組んでいます！

◆ 英語教育の充実



- ・5ラウンドシステムを取り入れた中学校英語授業
- ・外国人講師（ALT16名）を活用した英語授業
- ・ALTと生徒が、オンラインでつながる英会話授業

◆ 幼保小の連携



- ・『育ちと学びをつなぐ』幼保小連携・接続の充実事業」による研修会等の実施
- ・「呉版アプローチカリキュラム」,「呉版スタートカリキュラム」に基づいた幼保小連携の推進

◆ キャリア教育の充実



- ・中学校（第2学年）・義務教育学校（第8学年）における「呉市キャリア・スタート・ウィーク」の実施（530以上の呉市内事業所）
- ・自己の将来を見通すための「キャリア・ログ」等を活用した取組
- ・呉市キャリア教育推進協議会の実施（年2回開催）

一人一人の状況に応じて支援します！

◆ 不登校や不登校傾向、障害のある児童生徒へ



校内SSR

- ・生徒指導員(11名)
- ・学校教育指導補助員(60名)
- ・特別支援学級指導員(58名)
- ・医療的ケア看護職員(2名)
- ・校内SSR支援員(8名)
- ・呉市教育支援センター支援員(6名)
- ・いしばしよサポーター（有償ボランティア）

◆ 日本語指導が必要な児童生徒へ



- ・外国籍等の子どもの受入体制の充実
- ・授業や懇談会における母国語通訳による支援(人権教育相談員)
- ・学校通信等の翻訳
- ・日本語指導のための講師(非常勤)措置

◆ 就学・通学が困難な児童生徒へ



- ・経済的に困っている家庭への就学支援
- ・遠距離等通学費に対する支援
- ・スクールバス・タクシーによる通学支援

安全・安心で快適な教育環境を整備します！

◆ 新校舎の建設やトイレの洋式化



- ・呉市立学校耐震化 100%
- ・特別教室の空調整備完了
- ・新校舎の建設工事（宮原小、港町小）
- ・建替えに伴う解体工事（昭和中）
- ・トイレの洋式化（目標：R7洋式化率91.4%）

豊かな心と身体を育成します！

◆ いじめ撲滅キャンペーンの実施（年間2回）



- ・「いじめ0」ののぼりを持ったあいさつ運動
- ・いじめをテーマにした道徳の授業
- ・「いじめ撲滅宣言文」の唱和
- ・いじめ撲滅標語コンクールの実施「おかしな 気づいたしゅん間 すく相だん」（令和6年度最優秀賞受賞作品）

◆ 学校図書館の充実



- ・学校と学校司書(15名)が共に進める学校図書館の整備・充実
- ・各教科等における学校図書館の利活用の促進
- ・読み聞かせや推薦図書を紹介など、読書習慣の形成に向けた取組
- ・読書習慣の形成を支える環境整備

◆ 美術作品ふれあい、ふるさと文化探訪



- ・呉の文化や歴史、美術作品に触れる文化・芸術体験活動
- ・小学校・義務教育学校第4学年が呉市立美術館、入船山記念館を、第5学年が大和ミュージアムを、第6学年が蘭島閣美術館、御手洗町並み保存地区を見学

◆ リンクアップコンサート、鑑賞会（邦楽・洋楽）の実施



- ・広島交響楽団の生演奏、呉市音楽家協会・呉三曲会の生演奏や指導等に触れる文化・芸術体験活動
- ・カーネギーホール開発の音楽教育プログラムを基にした、音楽科の授業と連動したコンサート
- ・和楽器、洋楽器等の生演奏に触れ、児童生徒の豊かな感性を磨く学習活動の充実

◆ 魅力ある道徳教材の活用



- ・自作資料集「心豊かでたくましい呉の子どもをはぐむ道徳」第1集～第3集の活用
- ・「日本遺産を題材とした道徳学習プログラム」の活用

◆ 健康・体力の推進



- ・トップアスリートによる体育の授業や部活動指導
- ・「くれ・チャレンジマッチ・スタジアム」の活用(ホームページを通じて楽しく競い合える種目に学級単位で参加)

◆ 笑顔生み出す中学校給食の実現



- ・全ての中学校において、食缶方式による温かい給食の提供を実現したことにより、小・中・義務教育学校において、全員喫食による完全給食化

命を大切にする教育

「子供のレジリエンス（心の回復力）の育成」「SOSを出すことのできる子供の育成」を基本理念とした「命を大切にする教育～自殺予防教育～」を推進しています。

具体的な取組として、小学校5年生で「こころが苦しいときの対処」、小学校6年生で「アンガーマネジメント」、中学校1年生で「ストレスマネジメント」、中学校2年生及び高校1年生で「深刻な悩みを聞いた時の対応」について、スクールカウンセラー等との授業を実施しています。また、道徳科で生命の尊さについて考えたり、保健・保健分野で不安や悩み、ストレスへの対処について理解を深めたりしています。

また、リーフレット「相談してみよう」を作成・配付し、子どもたちに相談することの大切さを伝え続けています。



コミュニティ・スクールの全市導入

子どもたちの豊かな成長を促すためには「社会総掛かり」での教育の実現が必要です。

そのため呉市では、令和5年度に天応学園、令和6年度に呉高等学校にコミュニティ・スクールを導入しました。令和7年度には、全ての呉市立小・中学校にコミュニティ・スクールを導入します。地域の子どもたちをどのように育てるのか、何を実現していくのかという目標やビジョンを保護者や地域住民等と共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」づくりを目指します。

子どもたちや学校を取り巻く環境が複雑化・多様化する中、子どもや学校の抱える課題を解決し、未来を創

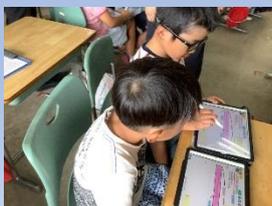


ICT教育のさらなる充実

令和3年4月から呉市立全小・中学校の児童生徒及び教職員に1人1台タブレット端末を整備して以降、様々な場面において授業支援アプリ「ロイロノート」等の活用を進めることで、子どもたちの主体的、対話的で深い学びを実現してきました。

令和6年度からは、AI型デジタルドリル「Qubena」を導入し、子どもたち一人一人の学習内容や課題をAIが分析、出題することで、子どもたちの個別最適な学びを支える手立ての一つとしています。

今後は、呉市ICT教育推進アドバイザー小崎誠二氏（奈良教育大学大学院准教授）に指導・助言をいただきながら、さらなる効果的な活用を目指します。



外部人材を活用した 学校部活動の展開

国のガイドラインに基づき、運動部では、令和5年度から、市内4校のハンドボール部が、ハンドボール協会の指導者による合同練習会を休日に年間10回実施しています。令和7年度には、陸上競技部や剣道部においても競技団体や部活動指導員による合同練習会を実施し、また、希望校に対し大学生を指導者として派遣します。文化部においても、吹奏楽部を対象としてこれまで行ってきた海上自衛隊呉音楽隊による実技講習会に加え、音楽団体による実技講習会や地域バンドによる希望校への講師派遣を実施することとしています。

外部人材を活用した学校部活動を展開し、将来にわたり生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保していきます。

